

暴風雪と大雪に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

福島地方気象台は、令和3年12月17日6時19分に「暴風雪と大雪に関する福島県気象情報 第2号」を発表しました。今後とも気象情報に留意してください。

暴風雪と大雪に関する福島県気象情報 第2号

令和3年12月17日6時19分 福島地方気象台発表

(見出し)

福島県の海上では、17日夜遅くから18日明け方にかけて雪を伴った西よりの暴風となる見込みです。海上では暴風雪に警戒し、中通りと浜通りの陸上では風雪に注意してください。また、18日は会津と中通りでは大雪や着雪、なだれに注意してください。

【気象状況】

低気圧が日本海にあって東北東へ進んでおり、急速に発達しながら北海道から千島近海に進み、別の紀伊半島付近にある低気圧も急速に発達しながら本州の南岸から日本の東へ進むでしょう。これらの低気圧の通過後は、東北地方の上空約5000メートルに、氷点下3.9度以下の強い寒気が流れ込むため、18日にかけて強い冬型の気圧配置となる見込みです。

【予想と防災事項】

<風の予想>

海上では、雪を伴った西よりの暴風となる見込み。

17日から18日にかけて予想される最大風速（最大瞬間風速）

海上	18メートル（30メートル）
浜通り陸上	12メートル（25メートル）
中通り	12メートル（25メートル）

<雪の予想>

18日は、会津と中通りでは大雪となる所がある見込み。

17日6時から18日6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

会津山沿い	50センチ
会津平地	15センチ
中通り山沿い	15センチ

その後、18日6時から19日6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

会津山沿い	20から40センチ
会津平地	10から20センチ
中通り山沿い	10から20センチ

<防災事項>

海上では、17日夜遅くから18日明け方にかけて、暴風雪による船舶の交通障害に警戒し、中通りと浜通りの陸上では、ふぶきや吹きだまりによる交通障害に注意してください。また、18日は会津と中通りでは、大雪による交通障害や着雪、屋根からの落雪、なだれに注意してください。

【補足事項】

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

次の「暴風雪と大雪に関する福島県気象情報」は、17日16時30分頃に発表する予定です。

ハウスの管理は、安全を確保した上で、以下の対策に留意し被害防止に努めてください。

【事前対策】

○使用中のハウスは、中柱やタイバー等による補強、暖房機の点検や燃料の残量確認を行ってください。

【降雪時の対策】

○暖房機が設置されている場合は、内部のカーテンを開放した上で、可能な範囲で室温を高めて屋根の雪を滑落させてください。

○短時間に多量の降雪があり、ハウスの雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切ってハウスの倒壊を回避してください。

【暖房機使用時の注意点】

○不完全燃焼による一酸化炭素の発生を防ぐため、暖房機の吸気口の周辺に資材等を放置しないように注意しましょう。また、積雪時には排気口が閉塞しないように確認しましょう。

なお、県農業振興課のホームページに、「農業用施設等の雪害防止技術対策(令和3年12月15日)」を掲載していますので、活用願います。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください

URL:<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>